



平成30年11月9日

各 位

会 社 名 タカセ 株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(JASDAQ・コード9087)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長
笹岡 幹男
(TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年5月14日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位：百万円)

平成31年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想 (A)	4,050	85	85	60	60.36
今回修正予想 (B)	4,130	130	135	105	105.64
増減額 (B-A)	80	45	50	45	—
増減率 (%)	2.0	52.9	58.8	75.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	4,076	△8	△8	△23	△23.44

※当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定して、前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益(△は損失)を算定しております。

修正の理由

一昨年度に実施した構造改善施策および不採算取引の見直しによる効果や東京都大田区平和島所在の平和島新倉庫の賃貸による効果が、当第2四半期連結累計期間の全期間6ヶ月間にわたって寄与したことに加え、上海現地法人における国内物流事業の業務取扱が、期初計画を大幅に上回り好調を持続できたことを主因として、特に利益面において、期初予想値を大幅に上回ることになりました。

以上から、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、期初予想値に対して、80百万円増(2.0%)の41億30百万円となる見込みであります。

また、営業利益は、期初予想値に対して45百万円増(52.9%)の1億30百万円となる見込みであり、経常利益は、期初予想値に対して50百万円増(58.8%)の1億35百万円となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は、期初予想値に対して45百万円増(75.0%)の1億5百万円となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点での修正はありません。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提のもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上